

新たなビジネスモデルのブランド化

企業概要

シマ・インターナショナル軽井沢ベアーズ

創業：1996年 従業員：1～5名

もともと、スーツ等のテーラー個人事業主であったが、テーラー事業の先行きに不安を感じ、着なくなった学生服を小さく仕立て直し、熊のぬいぐるみに着せ、大切な思い出を手元に置けるビジネスモデルを考案し、事業をスタートさせた。

手作りにこだわり、ぬいぐるみから手掛け、仕立て直しにはテーラーで培った技術を活かし、思い出完成後も、お客様に発送するのではなく、大切な思い出をお迎えに来て頂くという、こだわりようである。

きっかけ

起業家コンテストに応募し、支援機関（長野県中小企業振興センター）に商品名のネーミングの商標登録が必須とのアドバイスを受け、当支援窓口を紹介され利用を開始した。

支援内容・ポイント

ビジネスのネーミングを検討していたので、他と差別化できる商標の選定、及び、商標登録手続きを支援し、商標登録できた。並行して、考えているビジネスモデルをブラッシュアップすべく、ブランド専門家を派遣し、ブランド化のためのアドバイスをさせて頂いた。

上記の支援を参考に、相談者も独自の受注獲得のルート作りに奔走し、更に、様々な商品を紹介し、製作工程を見学したり、体験もできるミュージアムの構想をもち、実現に向け動きを加速している。

また、全国放映されるマスコミの宣伝力を活用している。

成果

熊のぬいぐるみ（制服リメイクベア）の受注数はビジネススタート時と比較し、現在2倍以上に拡大している。更に、学生服だけでなく、様々な制服、着物その他の衣類の新たな思い出作りの依頼もあり、ビジネス展開を検討している。

リードタイムの短縮が、現在の課題であり、職人の待遇を改善し安定した供給を目指し、法人化も検討中である。



ショップ外観



制服リメイクベアの例